



6月環境月間 日本政府推進「COOL CHOICE “賢い選択、”と連携

食品ロス削減やプラスチック削減等

豊かで持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを推進

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博）は、6月の環境月間に合わせて、日本政府が推進する国民運動「COOL CHOICE “賢い選択、”と連携し、先に定めたセブン&アイグループの環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」に基づき、食品ロスやプラスチック削減等の環境負荷低減の取り組みを推進いたします。

記

◆プラスチック削減の取り組み

1) プラスチック製ストローから紙製ストローへ変更

食品売場レジにて、お客様からのご要望によりお渡ししているストローを現行のプラスチック製ストローから紙製に変更いたします。

5月下旬から店舗への納品を開始し、現行在庫がなくなり次第、順次切り替えてまいります。



2) ペットボトルリサイクルの推進「ポイント2倍キャンペーン」

全国124店177台で実施しているペットボトル自動回収機のリサイクルポイント（以下RP）の2倍キャンペーンを6月の1ヶ月間実施（実施期間：6/1（土）から6/30（日））いたします。通常は1本=2RP、6月は1本=4RP付与。500RP貯まると50nanacoポイントに交換してお買い物にご利用いただけます。

お客様が自動回収機に投入されたペットボトルは、機械の中で自動的に選別、1/8に減容され、リサイクル工場に運ばれます。運搬車両も大幅に削減ができ、そこで再びペットボトルやプライベートブランドの「セブンプレミアム」の容器等に生まれ変わります。



<店頭ポスター>



<ペットボトル回収機>

3) マイバッグ持参運動の推進

食品売場レジ周辺にて、エコバッグの展開を強化し、マイバッグ持参によるレジ袋削減を呼びかけます。お会計時にかごの中に被せることで、袋詰め作業なく、そのまま持ち帰れるバッグ（画像）をはじめ、便利なエコバッグを展開いたします。



<マイバッグ>

◆食品ロス削減の取り組み

1) 「クッキングサポートコーナー」でのメニュー提案

全国のイトーヨーカドー96店舗で展開している「クッキングサポートコーナー」において、6月17日(月)からと6月24日(月)からの各1週間、野菜や肉の普段は捨ててしまう部分も活用したメニュー提案を実施いたします。日頃の食卓から食品ロス削減への啓発をまいります。



<クッキングサポートコーナー>

【紹介メニュー】

『鶏むね肉と野菜の甘酢あんかけと鶏皮の甘辛ダレ』

※6月17日週

- ・鶏むね肉を1枚まるごと美味しく食べられるメニュー
- ・余りがちな皮を使ってもう一品
- ・カリカリに炒めた皮を甘辛ダレでからめるだけ
- ・おつまみとしてもおすすめ



『まるごととうもろこしの炊込みごはん』 ※6月24日週

- ・炊飯器1つで簡単調理
- ・芯も一緒に炊き込んでとうもろこしのおいしさをまるごと味わえるメニュー
- ・和食にも洋食にも合う旬のご飯



2) 「賞味期限はおいしく食べられる目安」ポスターを展開

食品売場にて、啓発ポスターを6月1日から掲出いたします。お客様に販売されている商品は、全て美味しく食べられるものであり、買い方次第で食品ロス削減に繋がることを呼びかけます。



◆「COOL CHOICE」ポスターを展開＝イトーヨーカドー×環境省のオリジナル

イトーヨーカドーでは2015年より様々な環境負荷低減の活動に、国民運動「COOL CHOICE “賢い選択、”」の啓発を合わせてPRを行っております。今年6月も環境月間に合わせ全店舗でこの取り組みを紹介するポスターを展開いたします。



・環境省 COOL CHOICE イメージキャラクター

「君野イマ」「君野ミライ」地球温暖化対策のためのCOOL CHOICE（賢い選択）を日本中に広めるため、動画やスマートフォン用アプリ、イベント等で活動中のキャラクターです。

- ・店舗で展開している環境に配慮した商品を、お客様にご認識いただけるように、対象商品に「COOL CHOICE」マークを付けたPOPを取りつけてPRいたします。持続可能な漁業で獲られたことを証明するMSC認証商品など、お買い物で環境保全につながる商品をご紹介します。

◆CO2 削減ライトダウンの実施

「地球温暖化防止」のため、イトーヨーカドー各店でライトダウンを実施します。6月22日(土)夏至の日と7月7日(日)クールアースデーの20時~22時に各店の搭屋をライトダウンすることを通じ、CO2削減に貢献するとともに、店内放送などでお客様にも省エネを呼びかけてまいります。



セブン&アイグループは、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を定め、全てのステークホルダーの皆様とともに取り組んでまいります。

以上